高尾山ハイキング 2015　開催報告

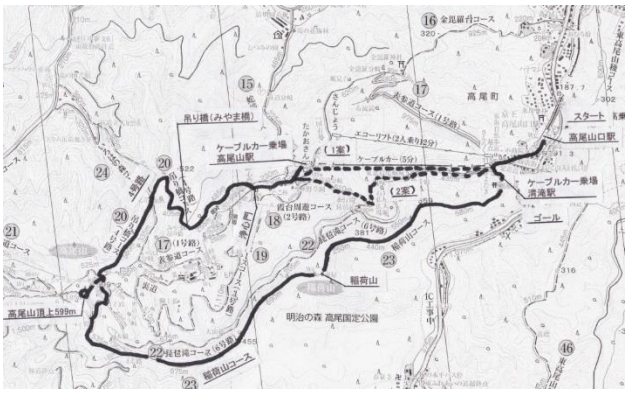
2015 年 3 月 21 日(土)9 時～15 時　参加者総計:9 名

私ども森林環境整備財団は、高尾山(東京都八王子市)において、森林インストラクター東京会様の協力のもと、ハイキングを初開催いたしました。当財団主催により毎年秋に開催をしている御岳・柚木の森ハイキング(東京都青梅市)に加え、今回新たな試みで、春の高尾山を体感する機会を設けました。

当日は、高尾山口駅前から 6 号路を歩き稲荷山を経由し高尾山山頂へ向かいました。昼食休憩後、午後は 4 号路へ入りケーブル山上駅までのコースを自然観察しながら、ゆったりとしたペースで歩きました。

手軽なハイキングコースとして親しまれている高尾山ですが、その貴重な自然のしくみについて深く知る機会は意外と少ないのではないでしょうか。今回は、森林インストラクターさんの説明を聞きながら、植生豊かな高尾山の自然林のしくみについて興味深く知ることができる貴重な時間となりました。

【コースマップ】



高尾山口駅　9:00

高尾山口駅前で開会式と準備体操を行い、徒歩で清滝駅まで移動します。当日は、曇りがちで時折晴れ間の見えるはっきりしない天気でしたが、多くの人が訪れていました。

清滝駅　9:30

清滝駅横から、まず稲荷山コースへ入ります。

道沿いにある特徴的なポイントでは、森林インストラクターさんから説明をいただきながら進んで行きます。

左の樹木は、カゴノキ（クスノキ科）。常緑広葉樹で、「鹿の子模様」からついた名前だそうです。

嶺に沿った比較的幅広い道。

自然のままの魅力的な枝木。

ダンコウバイの花（クスノキ科）

稲荷山から見た八王子市街

もみじ台　12:10

高尾山山頂近くのもみじ台で昼食休憩。ネコがお出迎え。

高尾山山頂　13:00

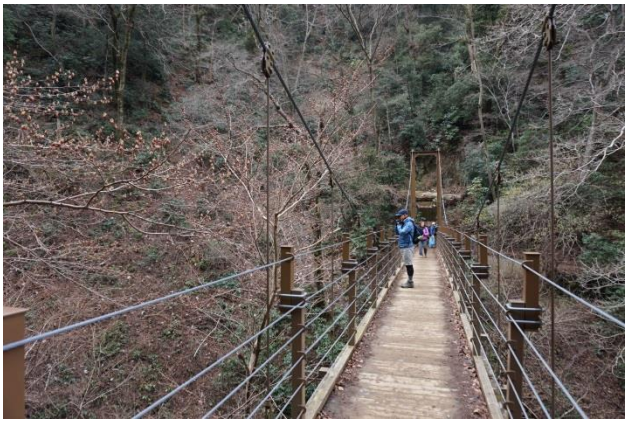
まだ寒さが残る時期ですが山頂はけっこうな賑わい。外国の方も相変わらず多いです。高尾山を楽しむ人たちの服装は、街中を歩くような姿から軽登山風の人まで多様です。さて、これから後半の 4 号路を進みます。

これはツチグリというキノコです。ヒトデのような変わった形をしています。真ん中の球体を突っつくと煙上の胞子が飛び出してきます。ひとつ発見して周りをよく見ると、多くのツチグリがありました。

写真右側には 2 種類の樹木が密着しています。互いに寄り添っているような様子です。どちらが男子で女子？これは個人の感性におまかせといった話で盛り上がりました。

美しい姿の大ブナ。イヌブナも周囲にあります。

休憩場所で周辺に落ちている葉を集めて森林インストラクターさんから葉のディティール部を含めて説明を伺いました。こうしてみるとあらためて様々な形・色があることに気づきます。



吊り橋（みやまばし）を渡ります。写真左側には、フサザクラが見えます。サクラとついているが「サクラ」の仲間ではないとのこと。雄しべや果実が房になって下がり、樹皮がサクラに似ていることからつけられた名だそうです。

浄心門　14:30

予定より少し遅れましたが、無事浄心門へ到着。

帰りは、山上駅からケーブルカーで下りて行きます。

清滝駅前広場で閉会式。雨に濡れず参加者全員なんとか無事に帰って来ました。

後記

今回森林インストラクター東京会様の協力により高尾山でのハイキングを初めて開催することができました。

御岳・柚木の森ハイキングへご参加いただいた方にとっては、植生などを見比べながらその共通した点や異なる点など興味深く体感していただけたかと思います。

私ども財団は、東京の森林について注目し活動を行っています。東京の森林をより一層魅力と価値の高いものとしてゆくためには、その保全から活用まで、多面的な森林環境の潜在力を引き出し続けることが大切ではないかと考えます。その点において、今回の高尾山での一日は今後の私どもの活動にとっておおいにプラスとなりました。

昨秋開催しましたセミナー＆クラフト教室、御岳・柚木の森ハイキングと今回ハイキングを合わせ、東京の森林を身近に感じる機会を、西武信用金庫様「第８回西武環境保全活動助成金」助成事業として取り組んで参りました。あらためまして今回の事業にご協力頂戴いたしました皆様には、厚く御礼申し上げます。

今後も私ども財団は、森を整備、管理する視点で、積極的に自ら体験してみる気持ちを大切にし、東京の貴重な森を守り、産業として大きく活かして行くことを掲げて活動してまいります。

報告者：山中